

花嫁さん

二重輪

ホントに好きって
知らねーよ

あ？
付き合いたい？
普通に嫌だけど

あーうざ
もう連絡してくんなよ
クソ女

〇〇をブロックしますか？
この方からのメッセージを
受信しなくなります。

キャンセル **ブロック**

女ってめんどくせー

はああああああああ……



誰かに縛られたりするのはまっぴらなんで
そんな女はすぐに切ってきた
そんなことばかりしているからここ数年は
常に女が2、3人いる状態だったのだが……



別にこんなのは初めてじゃない
最初は体だけの関係
しばらくすると女が付き合いたいたいの
籍を入れたいたいのほざきやがる



戻りましたー

思い返してみると
その時は久々に1人の女
との関係もない状態だった

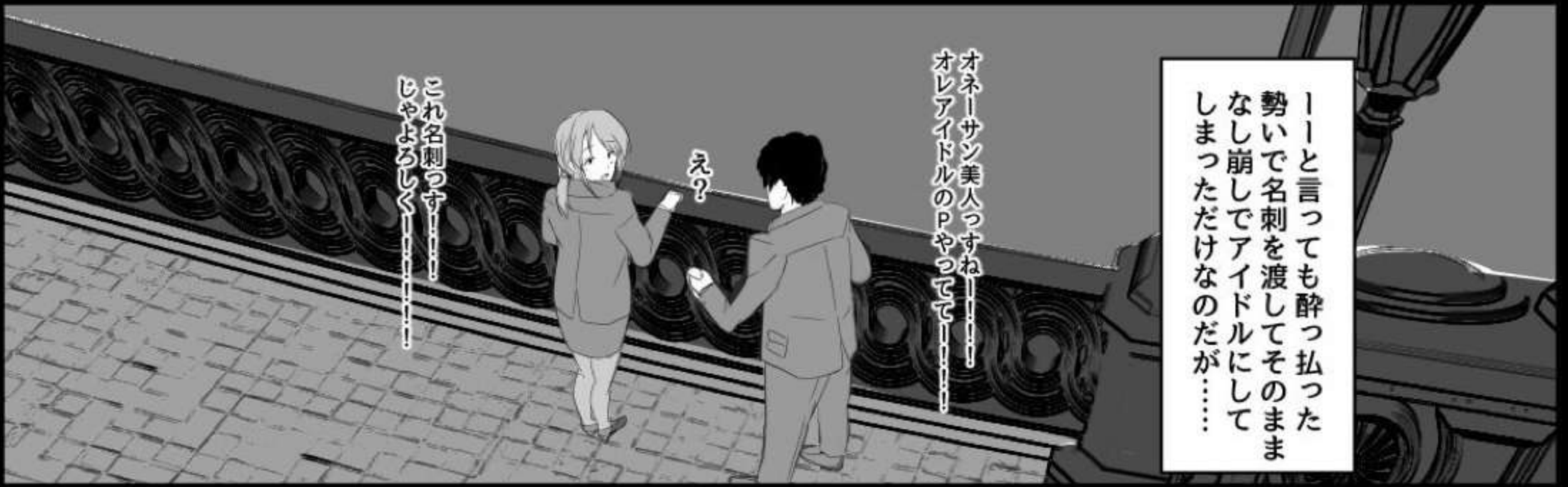
三船美優
オレが唯一スカウトしたアイドル



お疲れ様です



プロデューサーさん



ーと言っても酔っ払った勢いで名刺を渡してそのままなし崩しでアイドルにしてしまっただけなのだが……

オネーサン美人っすね……！
オレアイドルのPやってて……！

これ名刺っす……！
じゃよろしく……！

え？

そのせいもあってか距離感がイマイチ測りづらい

三船さんだけっすか？

はい皆さん飲みに行かれました

三船さんは？

なんとなく好意を向けられているんだらうなという自覚はあった

私は、Pさんを待って……

ただオレの中の決まりとしていくらエロかろうがアイドルには手を出さないと決めていた

——ただその日はしばらく女とやってなくて溜まっていたのもあって魔が刺した

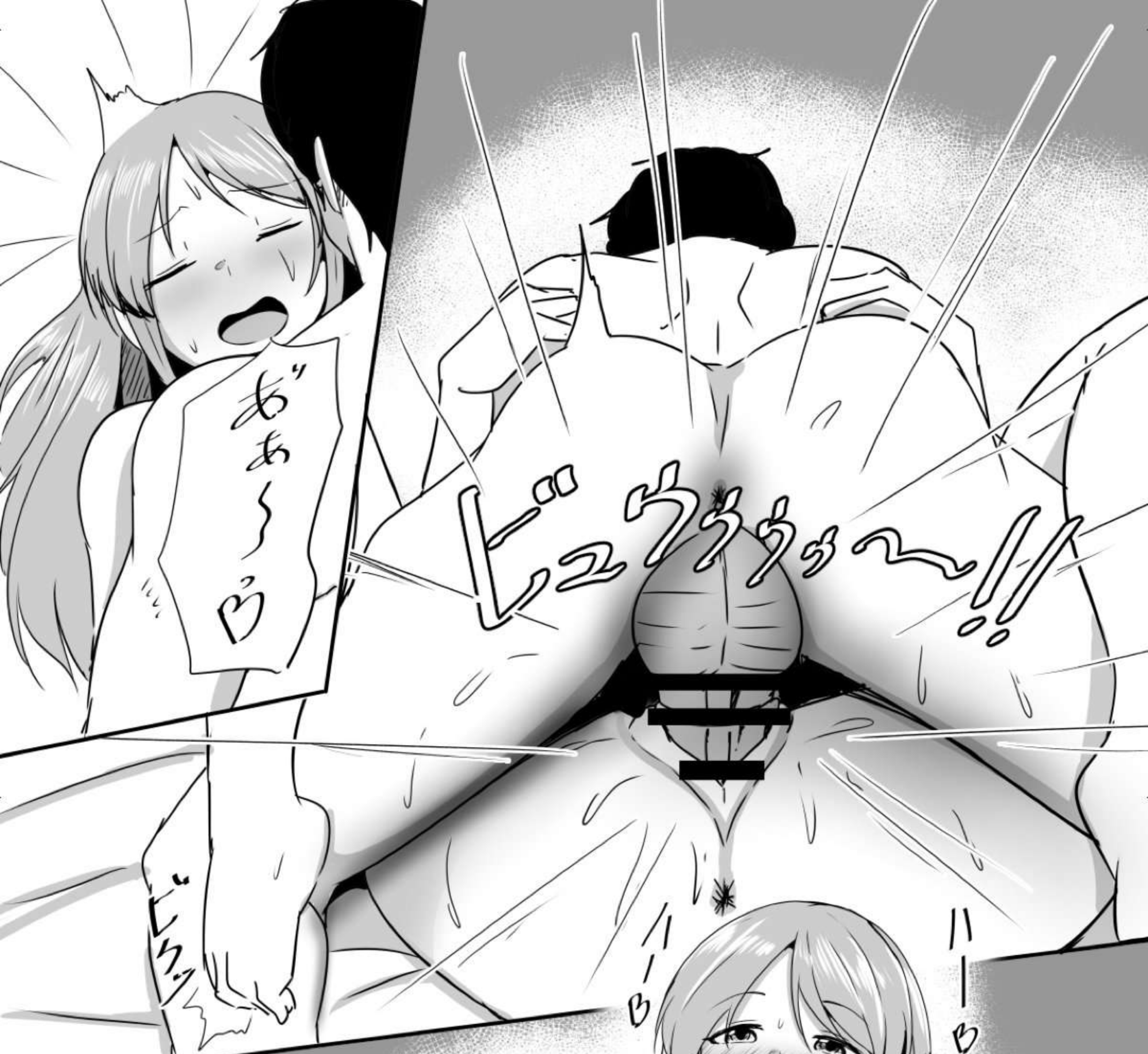
じゃあ——





初めて抱いたアイドルの味は
とても背徳的で——





気を抜くとずるずると
引きずり込まれてしまいそうだった



めっちゃ背中引つ掻かれたな……



Pさん、背中、
ごめんなさい……



オレらのこの関係、
2人だけの秘密ってことにしましょう？



ああ、いいつすよこんぐらい
それより——

一応釘刺しとくか



その時のオレは
手頃なセフレが出来た
くらいに考えた
けどそれはすぐに間違いだと思い知らされる





聞いたわよPくーん！
美優ちゃんと付き合い始めたんだって……！

その次の週――



えっと、あの
その話はどこから……？



いやーついになって感じよねー！
今まで影ながら応援してた甲斐が
あるってものよ

もう焦ったくて
たまらなかったものね



ふふ、美優ちゃんさ



フフ……







え？

本来は、な



はい……



アイドルという商品を扱う以上、
私たちは顧客に対してその商品の
潔癖性を担保する義務を負うのだよ
わかるかね？
ましてやその商品に手を出すなど
というのは言語道断だ



君と交際を始めたあたりの時期から
彼女の人気は饅登りだ
厭らしい話だが、彼女に関連する収益は
今や我が事業部の1割近くを
占めているんだよ



彼女は未成年というわけではないし、
年齢的にも男と一切交際するな、という
のは酷だろう、というのが私含め上の考えでな

はあ……



君の前に彼女とも面談していいね
キツパリと『君以外のプロデュースを受けるつもりない』と
言われてしまったよ
もし仮に君をクビにした場合、事務所を退所するともね



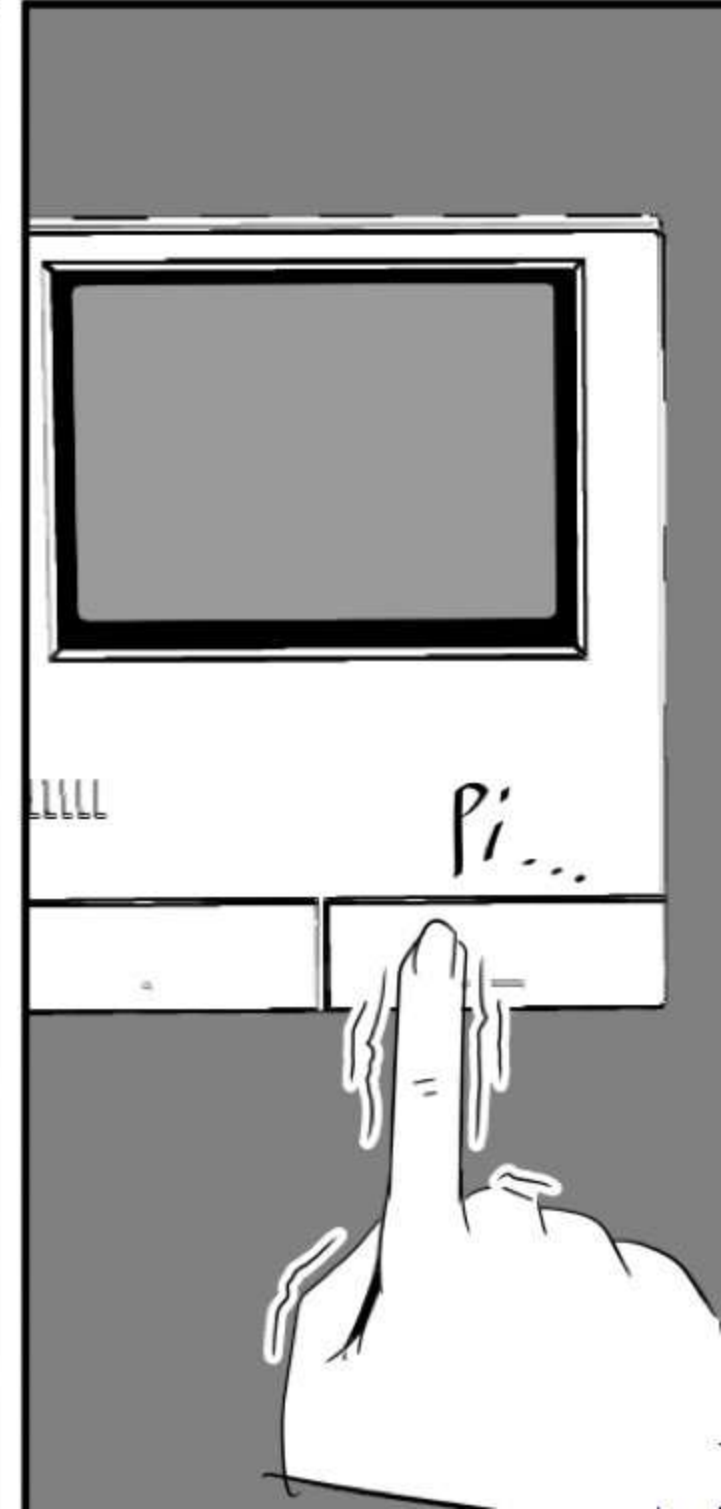
それに



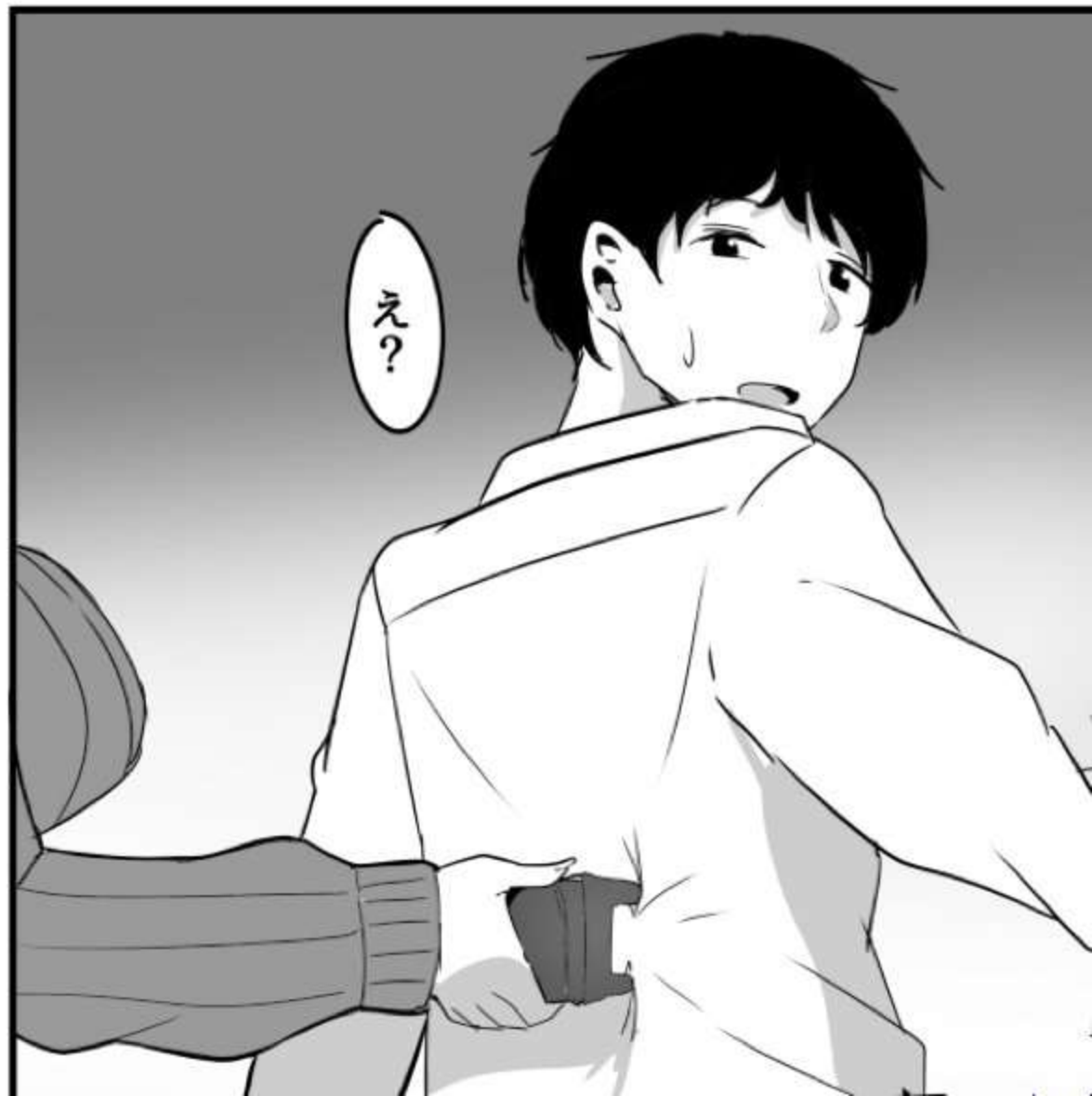
これは君の公私に及ぶプロデュースの
賜物だと私は考えている

はは……恐縮です……







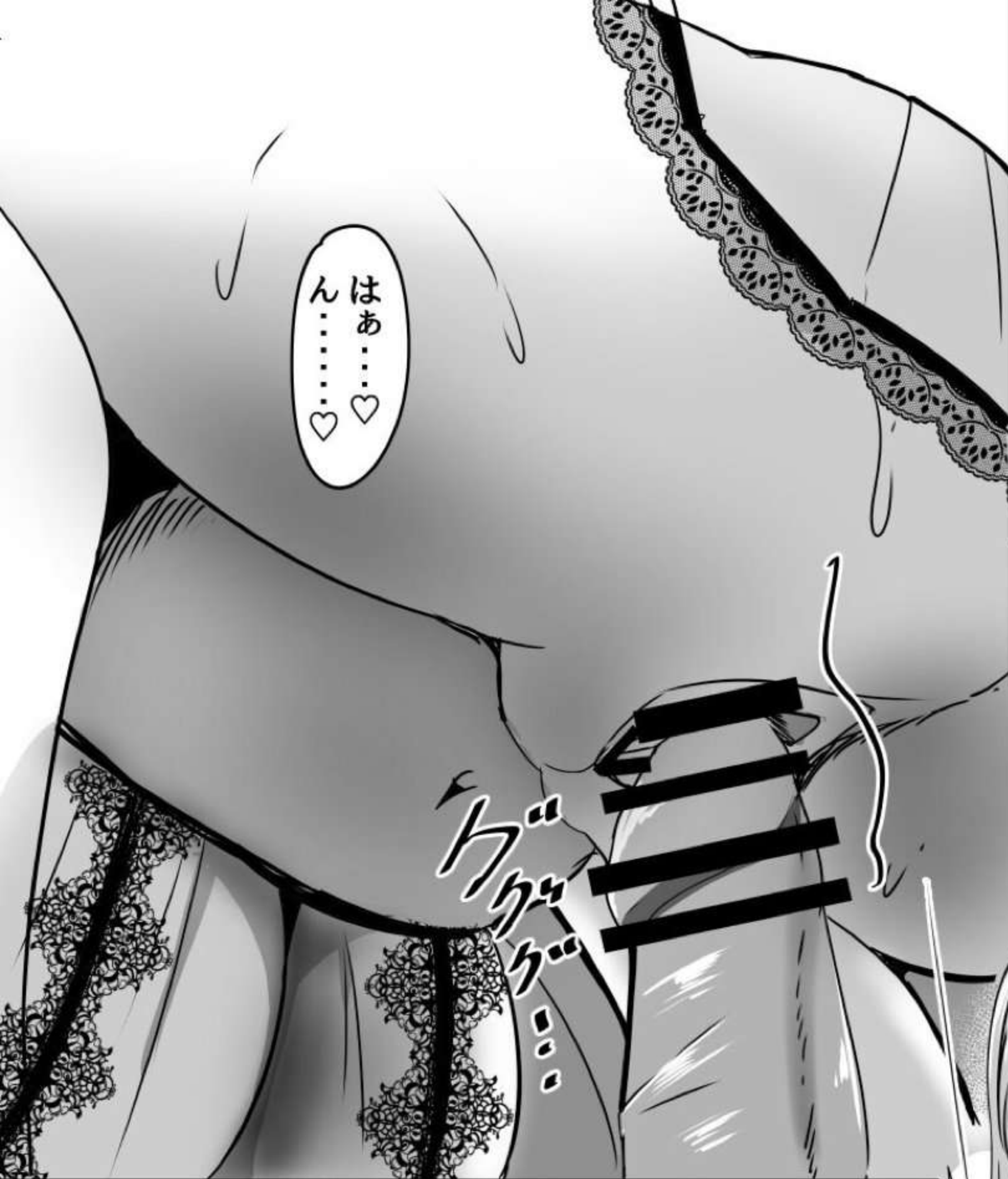








このアロマは志希ちゃんに頼んで作ってもらったんです
嗅いでいるだけで生き物の性欲を『暴走』させるんですって
ふふ、見たところ本当に効果は絶大みたいですね♡



んはあ……♡♡



じゃあ、



挿入っちゃいましたね♡

アア!!





み、三船さん、ちよ

好き♡

アハハハ

はいはい♡

はいはい♡

はいはい♡



言いましたよね
逃さないって

今日、ここであなたはわたしもモノに
いえ、わたしをあなたのモノにしてもらいます

美優って呼んで!!

ひっ

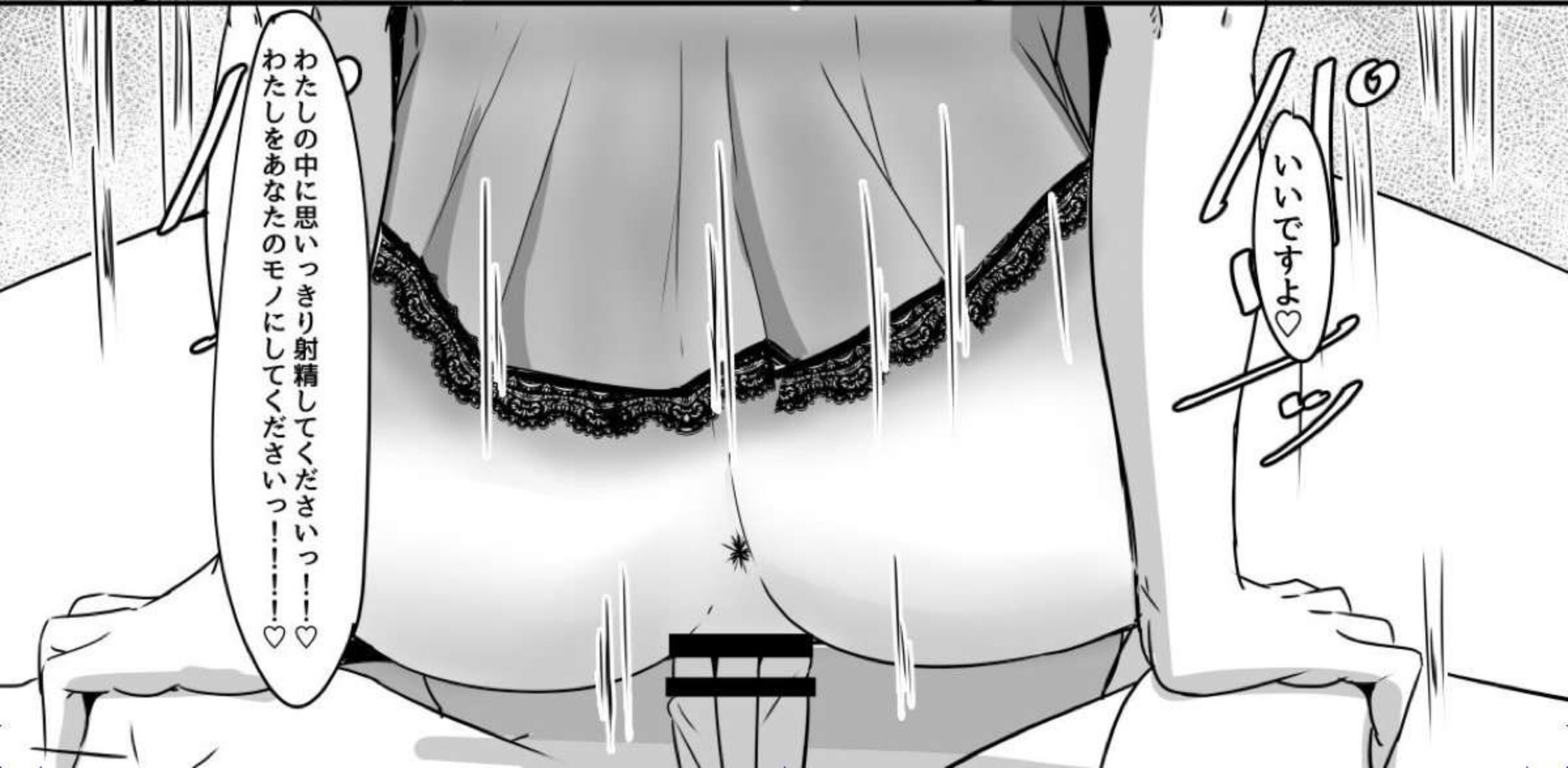
キッ



ホントにやめっ
くっ

あなたに仕込んでもらった技です、気持ちいいでしょ？

だめだっ、もう出る…っ！



わたしの中に思いっきり射精してくださいっ！！！！
わたしをあなたのモノにしてくださいっ！！！！！！！！！！
♡♡

いっしょに♡



なんだったんだ今のっ
こんなに気持ちのいい射精は初めてだ
意識がぶっ飛ぶかと思った……

出したばかりなのに
また出したい

だめだ抗えない
メスに射精したい

カチヤ

いいんですよ♡
ここにあなたが好きにしているメスが一匹
いるんです♡
めちやくちやに犯してください♡

ふっふっ、アロマがよく効いてるみたいですね

だめだとわかっていてもその先は
抗えなかった

そこから先は体がまるで
自分のものじやないみたい
に感じられた

あんっ♡
Pさん素敵っ♡

ただ、快楽を貰うだけの存在であるように、
目の前の女を犯し続けた

ハァ♡♡

ハァ♡♡

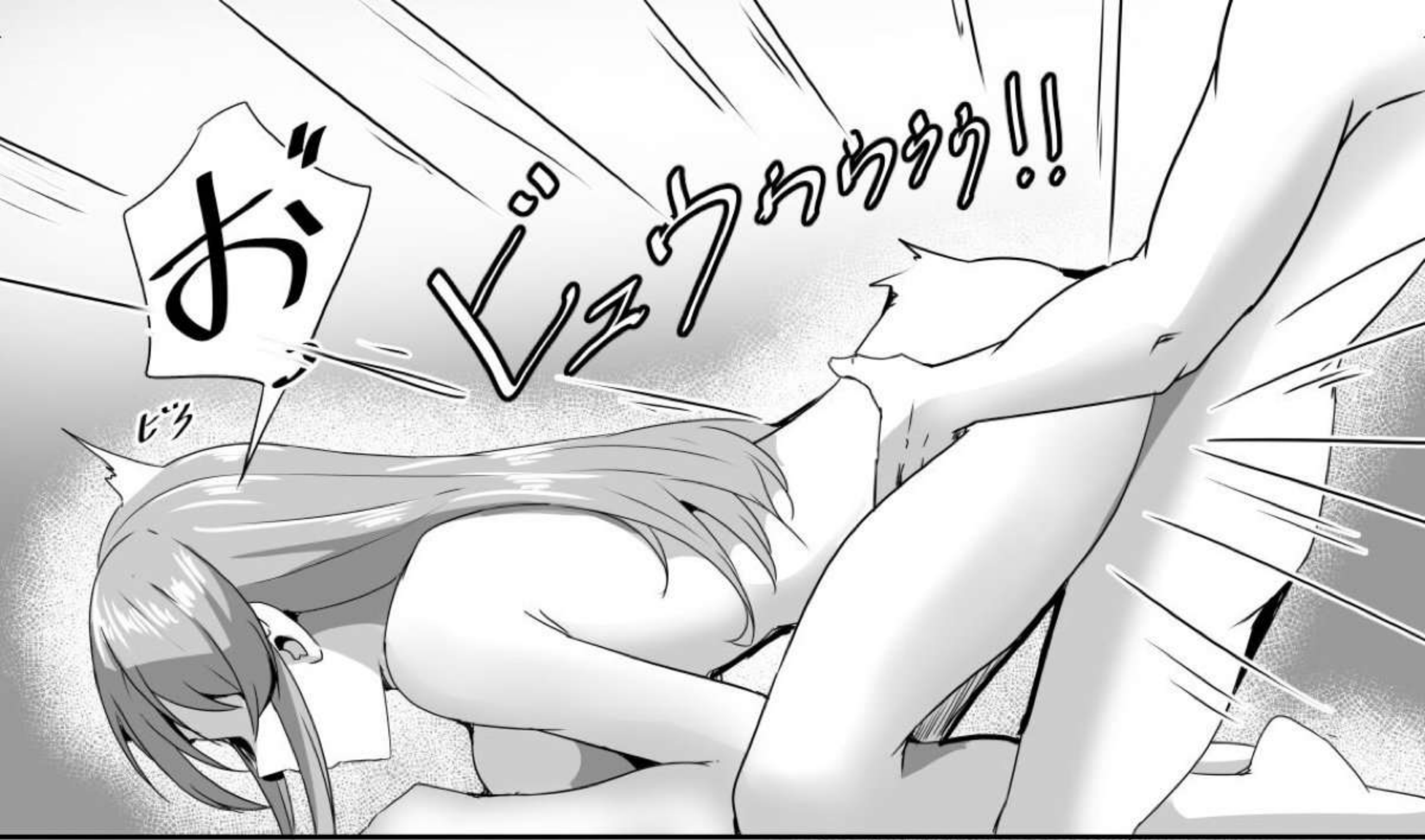
あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡

ビクッ





もう何時間
こうしているかわからない



だんだんと意識が希薄になっていく……





あっ……かつ……

ギョクク



いっ……

お前さえっお前さえいなければっ……

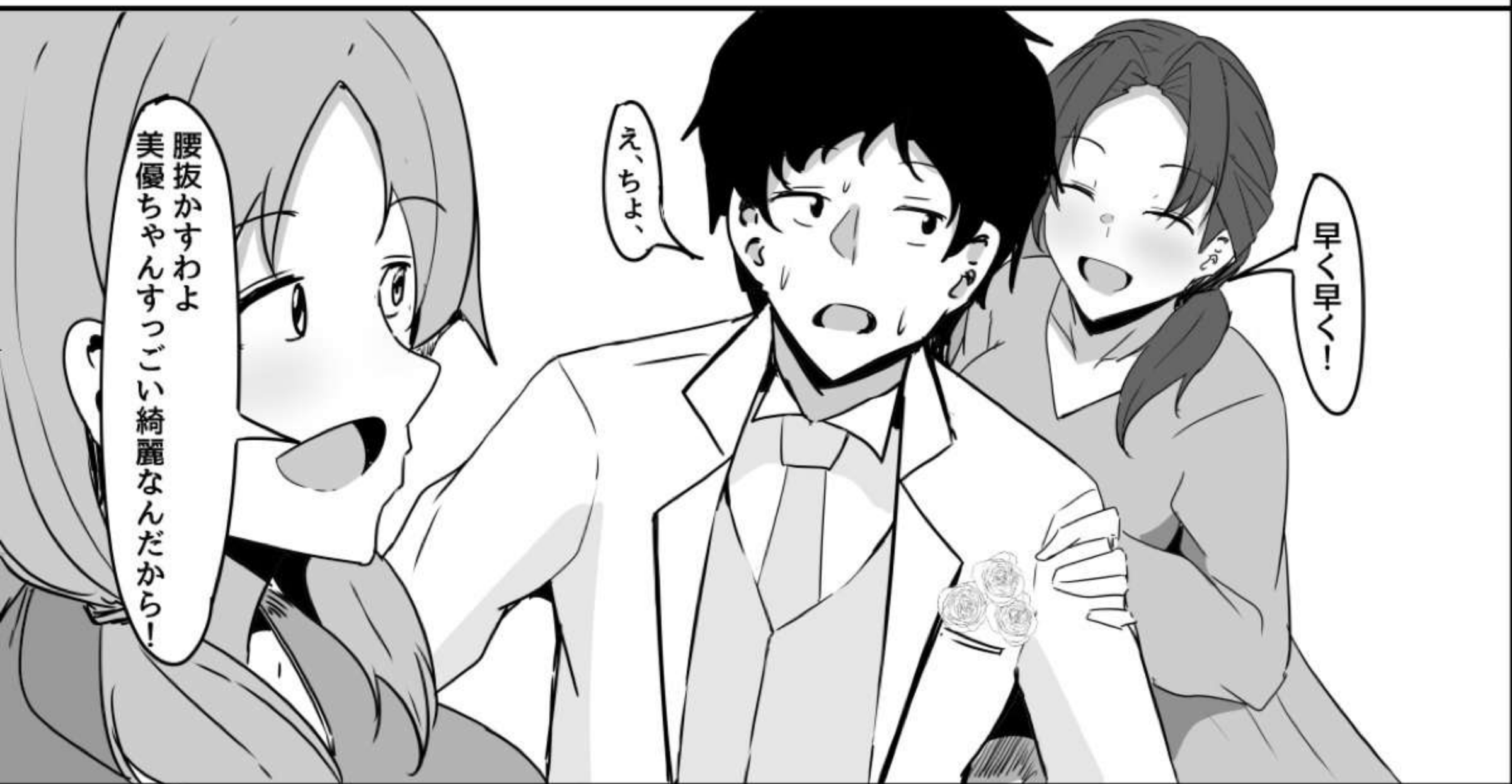


あっ……♡

い……い……です……Pさん……♡
もっと……して……くださ……♡









あ♡
どうですか？

あなた♡